

高橋 碩一 （はしはら けんいち） 歴史教育運動家。大正二年一月十五日東京生れ、昭和六十年八月六日歿（九三―八五）。筆名たけはし・しんいち、大井南六、篠山雄介。昭和十一年慶應義塾大学文学部国史学科卒。教師のち應召。一四四年歴史教育者協議會創設の加はる書記長となる。四十四年同會委員長。

著書『洋學論』（昭和十四年七月）、二十日三笠書房『日本歴史全書』（『新』の歴史教育への道』（昭和二十四年七月）、二十五日誠文堂新光社）、『歴史家の散歩』（昭和二十年一月十五日河出書房『河出新書』）、『歴史家講話の主人公』（合著・藤直幹・原田洋次編、昭和二十二年一月二十日二書房『二一新書』）、『東京歴史散歩』（編、昭和二十二年一月五日河出書房『河出新書』）、『歴史の眼』（昭和二十四年六月二十一日二書房『二一新書』）、『日本のレジスタンス』（合著・荒垣秀雄編、昭和二十九年一月十日河出書房新社『河出ペーパー・ブックス』）、『歴史教育と歴史意識』（昭和四十四年九月一日青木書店）、『新訂歴史教育論』（昭和四十五年五月二十日河出書房新社）、『歴史と庶民の対話』（昭和四十六年八月二十日新日本出版社）『新日本新書』（『歴史の心』注）『講演集』（『昭和五十年一月二十日岩崎書店）、『歴史の感覚』（昭和五十五年九月十日文一総合出版）等。

